

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明	
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている				
		スーパー（統括）	お客様の様子	・ガソリンの実質的な購入価格が下がったことが好影響し、買物に来る回数が増えている。	
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・前年比で売上が105%、来客数が103%であり、先月、今月と少し緩やかになってきている。月の後半ごろから勢いが戻り、数字を押し上げている。	
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・デザートやベーカリーの売行きが好調で、売上、来客数とも戻りつつある。	
		自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・先月に比べて人の動きと販売量が多くなっている。ガソリンが安くなっているせいか人の動きが活発になり、並行して販売量等も上がっている。	
		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・歓迎会またはそれぞれの団体による年度締めのお会合等の予約が4月に入り、例年以上に良い。	
			ゴルフ場（副支配人）	来客数の動き	・来客数が多い。単価を若干下げれば反応があり、価格に対する客の感じ方が敏感であることが考えられる。
	変わらない		百貨店（販売促進担当）	販売量の動き	・大型催事は好調であり価格提案に対する消費者の反応は良い状況にある。反面、宝飾等高額品の買い控えが目立っており、より消費者の購買行動が慎重になってきている。
			家電量販店（営業担当）	競争相手の様子	・前年より、消耗品などの単価に対して大変シビアになっている。
			住関連専門店（仕入担当）	来客数の動き	・天候不順により園芸関連品のスタートが遅い。雨天時の来店減少率が前年より高く、商品マインドの低下が表れている。ガソリン携行缶の売行きが月末に上がるなど、ガソリン価格に対する反応は早く、消費の不安定要素を増長させている。
			スナック（経営者）	来客数の動き	・最悪の状況であり、来客数も客単価も今までないくらい落ち込んでいる。
			観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・来客数は多少伸びているものの、客の財布のひもは固くお金を使わない。
			都市型ホテル（支配人）	競争相手の様子	・周辺の競合企業のホテルの様子は相変わらず良くない。当ホテルも同じである。
			旅行代理店（副支店長）	販売量の動き	・海外旅行の需要が燃油高騰の影響で落ちてきている。
			旅行代理店（支店長）	販売量の動き	・カウンター、店頭は個人客で、国内旅行はまずまずだが、海外旅行はやはり燃油サーチャージ等の関係から厳しい状況にある。また、団体客は4月に入り、新年度に入ったことで、見積の依頼が多く来るようになっている。ただし、すぐに決定するわけではないので、痛しかゆしという状況である。
		タクシー運転手	販売量の動き	・花見客の乗車に期待したが、期待はずれであった。物価の高騰意識から、法人個人共に余分な出費を抑える傾向が続いている。	
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・来客数に関して、このところずっと横ばいに転じている。そのため単価の動きもほぼ変わらない。	
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・来場者数が去年と同じである。	
		その他サービス [自動車整備業]（経営者）	お客様の様子	・4月は、重量税の暫定税率法案の行方を見極めが難しく、車検在庫量が減少し前年度に比べ4%減少しているが、5月は反動がある。	
		設計事務所（所長）	競争相手の様子	・「悪いまま、変わらない」ということで、同業者においても切実な思いをしている。年度当初ということもあり公共物件も期待できない。暫定税率に係る道路予算の行方も気になるところである。	
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・人気があるエリアの土地が出れば客の反応もあるが、売れていないエリアは他社も含めて全く動きがない。	
やや悪く なっている		商店街（代表者）	来客数の動き	・4月は天候に恵まれ、観桜客や祭りへの参加者に増加が見られた。しかし、祭事以外では、来客数や人通りに活気が見られない。	
		一般小売店[乳業]（経営者）	お客様の様子	・宅配時に客との会話のなかで、生活しづらいつの話題が多くなっている。	

一般小売店〔家電〕（経営者）	お客様の様子	・ガソリンを始め電気、ガス等の値上げが報道されているなかで、家電製品の購入動向は見えない。日々の生活の消費も節約が見られる。	
百貨店（総務担当）	販売量の動き	・食品以外は安くても特には買わない客が多くなっている。年代では70～80歳代が特に多い。	
百貨店（営業担当）	お客様の様子	・買い方が非常に慎重になっていて、余計な物は買わない状況である。	
スーパー（総務担当）	販売量の動き	・いろいろな物の値上げのなかで、食料品についてはほぼ前年並みの販売量を確保している。衣料品、生活用品については前年に比べて90、85%といった数字が出ており、かなり厳しい。	
スーパー（統括）	お客様の様子	・来店頻度は増えているものの、買上点数は減少傾向にある。あらゆる食品の値上げで可処分所得が減ったためか、メモやチラシを持ちながら買物をする光景が増え、消費者のかつてないほど価格に対する敏感さと慎重な買物姿勢がうかがえる。	
衣料品専門店（店長）	来客数の動き	・前年比で来客数が20%、販売量は約17%減少した。	
乗用車販売店（経営者）	競争相手の様子	・仕入を控えたり、在庫数を減らすなどの対応をする店が非常に多くなってきている。	
乗用車販売店（販売担当）	来客数の動き	・今まではある程度展示会その他催し物を開催すると、それなりに販売量や来客数が多かったが、ここ1～2か月来客数が減少しているというのが現状である。	
住関連専門店（店長）	販売量の動き	・客の買上点数は前年比1点減である。この1点減は来客数が10%減少したことと全く同じ条件であり、商品の原材料の値上げ等が売価に反映されたことが非常に大きな原因と考えられる。	
高級レストラン（店長）	販売量の動き	・食品やガソリンの値上げ等家計を圧迫する要因が多く、客の消費意欲が極端に低くなっている。	
都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・前年10月より稼働率が落ち込み、原油高、食材の高騰で利益減少が続いており、営業も大変厳しくなっている。	
旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・仕事の受注量が前年より悪くなっている。	
ゴルフ練習場（経営者）	お客様の様子	・買上客数、客単価どちらも減少と厳しい状態である。いつまでも暑くならないせいか休日の客足が鈍い。	
ゴルフ場（支配人）	来客数の動き	・天候にも恵まれた4月であったが、各曜日とも前年に比べ予約に勢いが無い。ゴールデンウィークの予約も直前にならないと入ってこない。客単価を前年並みにしようとしたが、値引き交渉が強く、低料金の日のみが混み合っている。	
美容室（経営者）	それ以外	・美容院の設備投資の相談件数は4月以降ほとんどない状況で、相談の電話も少なくなっている。	
住宅販売会社（経営者）	お客様の様子	・相変わらず分譲地、土地等の動きは非常に悪い。しかし、金額の安いものについては引き合いもある。客もまだ下がるだろう、もっと安いものがあるだろうとみんなけん制しあっている感じである。今月はアパート関係は結構引き合いが多くて、賃貸については、安いものについては成約になったが、店舗関係は相変わらず空室が多い状況である。	
住宅販売会社（経営者）	販売量の動き	・販売量、予約件数共に伸び悩んでいる状況である。	
悪くなっている	商店街（代表者）	単価の動き	・前年の同時期より個人商店への入客数が減少している。商店街全体の来客数もかなり減少しており、買う物も低価格の物が多いので客単価が下がっている。
	スーパー（販売促進担当）	来客数の動き	・車での来店が多いなか、車入庫台数が前年の7～8割と少なくなっており、石油高騰が来客数にダイレクトに影響している。近隣の客を取り込むために手を打っているが、前年の売上を割っている状況である。
	家電量販店（店長）	来客数の動き	・前年比85%の来客数であり、オリンピック効果はいまだ感じられない。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・今月も新車の販売台数が前年比80%であり、毎月前年を下回っている。
	スナック（経営者）	来客数の動き	・来客数の動きも悪く、競争相手、それから客の小遣い等、お金に関する事で良い話を聞かない。
	タクシー（経営者）	お客様の様子	・昼も夜も全体の動きが悪く、前年同月と比べて3%の減少である。

		その他レジャー施設 [アミューズメント] (職員)	お客様の様子	・深夜帯というのは得意客の割合が多いのだが、その得意客の来店頻度が以前よりも落ちている。
企業 動向 関連	良くなっている	その他製造業 [環境機器] (経営者)	受注量や販売量の動き	・5年前から開発と合わせて活動してきたスプレー缶、ガス缶、ライター処理機等の環境機器設置について、この3月の行政の予算議決が決まり、今月5か所の契約が完了している。
	やや良くなっている	食料品製造業 (営業統括)	競争相手の様子	・売上金額は若干増加している。
		輸送用機械器具製造業 (経営者)	受注価格や販売価格の動き	・非常に現在は仕事が多く、やりきれないほどあり、大変に好調である。
変わらない	変わらない	窯業・土石製品製造業 (経営者)	取引先の様子	・店頭売り一般商品の受注は例年と比較してもこの2、3か月の間は割と安定している。
		金属製品製造業 (経営者)	競争相手の様子	・機械金属業界では特に鉄板類の値上がりがかみん大変懸念している。価格転嫁するのが難しいなかで、3月は7万円/t台、4月には9、10万円/t台とこれまでに経験のない状態で、吸収するのが大変である。
	輸送業 (営業担当)	取引先の様子	・物量的には前年並みであるが、大口取引先である荷主より燃料高による運賃転嫁を受け入れてもらい、売上は伸びている。しかし、運賃転嫁に理解を示してくれた一方、輸送に対してはその対応や質の向上を図られている。	
やや悪くなっている	やや悪くなっている	一般機械器具製造業 (生産管理担当)	受注量や販売量の動き	・突発的な試作案件が入り、忙しい状況ではあるが、年当初、今年も引き続き好調と予想していた建設機械、油圧機器の仕事に関して思ったほどの伸びがみられず、減少傾向が出ている。
		電気機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・当社のような小企業にもアメリカのサブプライムローン問題の影響が出てきている。特にアメリカに輸出したいと考えている親会社からの受注の取消しや縮小がみられるようになり、我々にも影響している。
	金融業 (経営企画担当)	取引先の様子	・製造業においては、原油高騰、原材料高騰により苦しい経営を余儀なくされており、特に自動車、電気関連において円高等の影響で受注減少傾向にある。	
	広告代理店 (営業担当)	受注量や販売量の動き	・県内における好材料は何もなく、新年度に入っただけである。同業他社含めた状況の悪化が、どんどん顕在化しているのが深刻である。	
	新聞販売店 [広告] (総務担当)	取引先の様子	・会社のユニフォームは年々減少傾向にあるようだが、新入社員が入った今月も更に需要が縮小したと聞いている。また、毎年この時期に開設される花見小屋も低調だったようである。今月のチラシ出稿量は92%で10か月連続して前年を下回っている。	
	社会保険労務士	取引先の様子	・退職者が出てもすぐに補充せず様子を見るところが増えている。	
悪くなっている	悪くなっている	化学工業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・新年度がスタートしたが、買い控えの感があり、注文が非常に少ない。売上が確保できず苦慮している。
		電気機械器具製造業 (経営者)	受注量や販売量の動き	・仕事量が少なく、親会社は当社でやっている仕事を自分のところに引き上げてやるような動きが出ている。それだけ、ここにきて仕事がぱったりなくなっている。
	その他製造業 [宝石・貴金属] (経営者)	受注量や販売量の動き	・春先の需要が伸びていない。宝飾100社が出席する大規模な展示会でも来場者10%減、売上20%減である。前年の業界の売上も減少したという発表もあり、厳しい現状である。自社でも1月から3月まで前年比を割るなかで、材料であるプラチナ地金の高騰が影響し、収益を維持するので精一杯で、売上減少をカバーできていない。	
	建設業 (総務担当)	受注量や販売量の動き	・公共工事主体のため、道路特定財源の暫定税率期限切れの影響は大である。4月以降の公共工事がストップの状況であり、特に県関係の発注が皆無に等しい。このまま長く続くと企業の存続が厳しくなる。	
		金融業 (総務担当)	取引先の様子	・取引先では、3月まで期間を限って値段が据置いていた業者からの値上げが始まったため、費用支出が増えた。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-

やや良くなっている	-	-	-
変わらない	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・新卒の採用も地元の大手製造業では前年より多少採用人数が多いところもあるものの、全体的には横ばいである。景気の低迷が続くなか、サービス業以外の求人数は減少している。
	求人情報誌製作会社（経営者）	それ以外	・広告出稿依頼の減少が見られる。
	学校〔専門学校〕（副校長）	雇用形態の様子	・本校学生の本年3月末の就職内定率は、例年に比べ非常に高い。ただ、製造業を含め企業の新規採用者は増加しているが、雇用条件は改善していない。
	学校〔短期大学〕（就職担当）	求人数の動き	・直接の求人数があまり増えず、職安に出た求人も参考にしている。採用数自体前年の同時期と変わらないが、企業の早めから行われている複数の採用試験の結果次第では、職種によってかなり減少する可能性もある。そのため、学生に対しては早めの行動を促している。
やや悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	雇用形態の様子	・求人においての内容であるが、製造よりも、小売、販売、サービス、営業的なもの、小売店関係の販売員の募集や介護関係の募集が目立っていたが、採用には至っていない。雇用状況については時給等は据置き、また、連休を前にして少し作業の追い込みがあったにもかかわらず、残業等はさほど見受けられない。これは製造業等全般にわたってうかがえる。
	求人情報誌製作会社（経営者）	求人数の動き	・地元においてアウトレットモールの増設、ホームセンターの新規出店が控えているので、人の動きがあるかと思われるが、依然として求人の申込が悪い。街の空気も停滞している。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数、有効求人数共に前年同月を約20%下回っており、景気の先行きが不透明のなか、模様眺めの状態が続いている。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人数が前年同月に比べ大幅に減少している。
	民間職業紹介機関（経営者）	求人数の動き	・製造業にとって、原油高、原材料の高騰が大きな不安要因としてはっきり現れてきている。
悪くなっている	人材派遣会社（経営者）	周辺企業の様子	・現在クライアントが12～13社いるが、仕事は忙しいのは1社で、あとは全部良くない。